

# 週報みえぎよれん

★浜に身近な話題をお届けする関係者向けミニ情報誌★

編集・発行

JF 三重漁連指導部

TEL:059-228-1205

FAX:059-225-4511

本紙は三重漁連ホームページ (<http://www.miegyoren.or.jp/>) での閲覧を推奨します (PDF ファイル)。

## 海苔テラスOPEN!

-10月9日(日) 松阪市にて-

三重県漁連は、三重県自慢の海苔海藻類が購入できるお店として、9日(日)、松阪市中央町の「のり流通センター」内に「海苔テラス」をオープンした。

当店は、10:00~14:00 にオープニングイベントとして、海苔海藻類・冷凍加工品・ランチボックスの販売、青さ汁の無料配布、伊勢まだい漬け丼の格安販売(限定 200 食)などを行った。悪天候にもかかわらず、多くの来場者が訪れ、三重県の海産物を味わっていた。なお、同テラスでは、平日のみランチ営業を行っており、多数の来場を呼び掛けている。

- ・ 営業時間 10:00~17:00
- ・ ランチ 11:00~14:00
- ・ 閉店日 土日祝



オープン前とオープン後の海苔テラス内

## 伊勢エビ漁解禁をPR

-10月4日(火)~5日(水) 東京にて-

鈴木英敬三重県知事と志摩市和具の海女・山本智美さんと柴原真澄さんが 5 日、三重県内の伊勢エビ漁が 10 月 1 日に全面解禁になった報告と PR を兼ねて、東京都千代田区永田町の首相公邸を訪れ、安倍首相夫人に贈られたての伊勢エビを贈った。今回の訪問は初めてのこととで、三重県内で盛んな伊勢エビ漁の知名度向上等を目的として実施した。

鈴木知事は、「伊勢エビは伊勢志摩サミットでも各国首脳から好評で、資源管理もしっかりとされている」とアピール。海女の 2 人も「刺身も美味しいが、串に刺しての味噌焼きも美味しい」「甘さが一番の魅力」などと PR した。

また、同日中に農林水産省も訪れ、斎藤健農水副大臣にも伊勢エビ漁の解禁の報告と PR を行った。

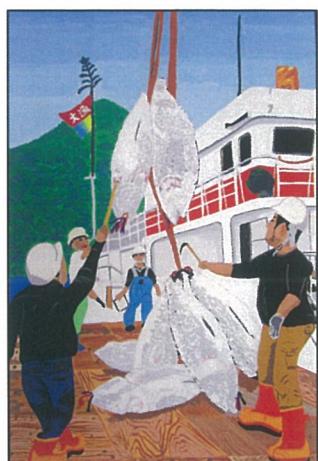


伊勢エビを手に笑顔の安倍首相夫人

**第 38 回三重県海の子作品審査会  
-10 月 14 日（金）津市にて開催-**

10 月 14 日（金）、「第 38 回三重県海の子作品展審査会」が津市内で行われた。

この作品展は、県下沿海地区市町の中学生を対象に、海・漁業・漁村に関する題材の美術作品を募り、海を愛する心を育て、漁業に対する理解を深め、漁業後継者の育成を図ることを目的としている。今年は 38 回目の開催となり、小・中学生の部合わせて 428 点の作品が審査に臨んだ。厳正な審査の結果、最優秀賞の三重県知事賞には【小学校の部】志摩市立和具小学校 4 年生 山本雅乃さん、【中学校の部】紀北町立潮南中学校 2 年生 泉 憲志郎さんの作品が選ばれた。その他 12 作品が入選し、特に優秀な作品（小学生の部 6 点、中学生の部 4 点）については、「第 39 回全国海の子作品展」へ出品される。加えて、入賞作品については、子どもたちの“思い”を広く伝える趣旨にて、11 月中旬頃、三重県漁連 HP に掲載するとともに、県内数ヶ所のマリンバンク店舗での展示を行う予定。



中学生の部 知事賞



小学生の部 知事賞

**新規漁業就業者育成・座学研修  
-10 月 8 日（土）マリーナ河芸にて-**

10 月 8 日（土）、マリーナ河芸に於いて、三重県漁業担い手対策協議会が主催する新規就業者育成コースの第 5 回座学研修が開かれた。今回は、マリーナ河芸の中野豊弘支配人及び三重県自然観察員の白鳥敏夫氏を講師に招き、中野講師からは、実際にボートに乗船して「操船技術」や「係留方法」を、白鳥講師からは、小型船舶操縦士免許試験時によく出題される基本的な「ロープワーク」についての実技を学んだ。会場には、北は四日市から南は南伊勢町にまたがる新規就業者 4 名が参加し、熱心に受講していた。



## 【主な予定】

- 10 月 29 日（土）
  - ・森林整備活動（岐阜県白川町）

本文の無断転載・転用等は固くお断りします。